

GIGA 校内研修推進リーダー研修 資料

津幡町立条南小学校

① 校内研修会

GIGA プロジェクトチームを立ち上げ、定期的に研修会を行っている。ICT サポーターや GIGA 推進員を中心に全体研修会を行い、その後ミニ研修会で実際に使ってみる場を設けている。プロジェクトチームで話し合われたことは、学年会へ持ち帰り広めている。

研修内容

- 4/16 フォームでアンケートを作成しクラスルームのストリームに投稿する方法
- 5/19 ミライシードのオクリンクやムーブノートの使い方
- 6/2 詳しいフォームの使い方
- 7/5 ミライシードのオクリンクで課題作成と画面共有の方法
- 9/14 ミートを使った朝の会の仕方

プロジェクトチーム

推進チーム・・・ ICT の活用方法を広める

授業づくりチーム・・・授業で ICT をどのようにどんな場面で使いたいか、使ってみてよかった点や困ったことなどを出し合う。

② 授業で

図工・・・Jam board

児童の作品を画像で撮影し、一人一人がコメントを残せるようにした。児童は積極的にたくさんの友達にコメントを書くことができていた。操作も難しくなく全員が記入することができていたが、1つのスライドに20枚しか作れないため、スライドを2つ作る必要があり、児童も2つのファイルを行き来する必要があることが少し不便に感じた。

道徳・・・オクリンク

教材を読んだ後に主人公のよかったところを記入し提出させて全員で共有した。様々な考えを読み合うことができ全体で発表するよりも短時間でたくさんの意見に触れあうことができた。一方で入力のスPEEDに差があるためどうしても全員が記入し終えて読み合うとなると時間がかかってしまった。

国語・・・ムーブノート

既習漢字を用いて文章を作ることを行った。様々な文を共有し友達の意見にスタンプを押すこともできるため意欲的に作って共有することができた。一方で入力のスPEEDに差が見られることと、漢字は変換したらすぐに表示されることからあまり漢字の練習としては定着しにくいように感じたためやり方を工夫する必要がある。

算数・・・オクリンク

文章題の問題では、「分かっていること」「たずねていること」に自分でペンを使って線を引き、考えを作成したボードに記入させた。できたものは提出ボックスに出した。教師はオクリンク内のカスタム機能を使い、考えが似ている児童の意見を集約し、子ども同士で考え方を説明させた。

算数・・・スライド

児童のノートを写真で撮り一人1枚のスライドにのせた。手本となるノートには教師がコメントを入れた。他の児童のノートを自分の座席で見ることができ、ノートを書く時に良いところを真似することができた。スライドを作るときに自分のスライド以外をさわらないように注意が必要である。スライドが完成したら、児童は閲覧のみに設定しておく。

生活科・・・オクリンク

1年生に学校紹介と学校クイズをするための動画を作成した。子どもたちは1つ1つ撮った動画をオクリンク内でつなげて、1本の動画につなげた。撮った動画についてはオクリンク内の共有フォルダを作成し、そこに入れることで、子ども同士で動画の送り合いができるようになった。

③ 授業以外で

- ・朝昼学習で週に1回ドリルパークで主に算数の学習をしている。
→全校一斉にクロームブックを使えないことがあった。
- ・前期児童アンケートをフォームを活用して行った。(2～6年)
→フォームで集計ができるが、手元に紙媒体が残らないので、クラスの誰がどんな評価をしたのかがすぐにはわからない。アンケートの送り主がCやDの評価をした児童を抜き出し、さしあたり担任に伝えた。フォームよりも使い勝手が良いエクセルに変換して集計した。
- ・児童が家庭でいつでもすぐにミートを使えるように、全クラスで朝の会をミートで行っている。ミートの使い方についてプリントで示し、教師もスムーズに使えるようにしている。

④ 家庭学習

- ・夏休みの家庭学習として、フォームで日記を書かせ提出させた。(2回)
→児童が家庭から課題を送信したが、一度提出するとやり直しがきかない。教師側で提出期限を決めたのにその後も児童側から送ることができてしまう。
- ・2年生のクラスで夏休みにGoogleミートを使い、リモート学級会・ライブ授業を複数回行った。
→子どもたちには事前にミートの使い方を教えている。自宅でも交流することができた。